

高等教育における職業教育の在り方について (論点メモ)

【これまでのご意見を踏まえた主な論点例】

・高等教育における職業教育の在り方

1. 高等教育における職業教育について、学生・生徒の社会・職業への移行や、後期中等教育との接続、社会からの要請や学生・生徒のニーズへの対応等との観点から、現在、どのような課題を抱えているか。
2. 職業教育における各高等教育機関(大学、短大、高専、専門学校)の役割・機能、分担関係をどのように考えるか。
また、国としてのミッション、果たすべき役割について、どのように考えるか。
3. 職業教育体系の確立や、職業教育に特化した新たな高等教育機関の創設について指摘されているが、その必要性、意義、制度的な課題等について、どのように考えるか。

1. 大学(学部)

目的：「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させること」を目的とする。

上記のような目的を持つ大学において、職業教育の位置づけ・在り方をどう考えるか。

大学の教育と職業に関する内容の在り方について、どのように考えるか(下記のような考え方をどう考えるか)。

- ・大学教育においても、もっと職業に密接な内容とすべき。
- ・大学で学ぶべきは、方法論や問題解決といった、学問教育を通じて習得する、より普遍的な能力。

(上記在り方に対し)現状・課題(及び改善方策)をどう考えるか。

【就職者の現状(資料8-3参照)】

| | | |
|--------------|--------------------------|--|
| 事務従事者 | 128,945人 (大学全体の33.2%) | 社会科学分野 72,042人(44.9%*) 人文科学分野 31,503人(47.7%) その他 6,401人(38.7%) |
| 専門的・技術的職業従事者 | 127,591人 (大学全体の32.8%) | 工学分野 5,289人(78.3%) 保健分野 20,925人(88.8%) 社会科学分野 18,410人(11.5%) |
| 販売従事者 | 89,534人 (大学全体の23%) | 社会科学分野 50,110人(31.3%) 人文科学分野 18,489人(28%) 工学分野 4,702人(8.1%) |

それぞれ上位3番目までを抜粋

* パーセンテージは、当該分野の学生総数に占める各職種への就職者の割合を表す(以下同じ)。

2. 短期大学

目的：「深く専門の学芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を育成すること」を主な目的とする。

上記のような目的を持つ短期大学において、職業教育の位置づけ・在り方をどう考えるか。

(上記在り方に対し)現状・課題(及び改善方策)をどう考えるか。

【就職者の現状(資料8-3参照)】

| | | |
|--------------|-------------------------|---|
| 専門的・技術的職業従事者 | 32,713人 (短大全体の54.1%) | 教育分野 19,298人(88.4%) 家政分野 5,081人(37.8%) 保健分野 3,212人(86.9%) |
| 事務従事者 | 14,374人 (短大全体の23.8%) | 家政分野 4,151人(30.9%) 人文分野 3,433人(57%) 社会分野 2,763人(36.4%) |
| 販売従事者 | 6,874人 (短大全体の11.4%) | 家政分野 2,630人(19.6%) 人文分野 1,296人(21.5%) 社会分野 863人(11.4%) |

それぞれ上位3番目までを抜粋

3. 高等専門学校

目的：「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成すること」を目的とする。

上記のような目的を持つ高等専門学校において、職業教育の位置づけ・在り方をどう考えるか。

高等専門学校について、中学校卒業段階という早期からの5年一貫の体験重視型の専門教育を特色とし、応用力に富んだ実践的・創造的技術者の育成を行うと評価されるが、現状・課題(及び改善方策)をどう考えるか。

【就職者の現状(資料8-3参照)】

| | | |
|--------------|------------------------|---|
| 専門的・技術的職業従事者 | 5,077人 (高専全体の92.3%) | 工学科 5,000人(94.1%) 商船学科 23人(21.5%) 経営情報学科 20人(80%) |
| 運輸・通信従事者 | 159人 (高専全体の2.9%) | 工学科 80人(1.5%) 商船学科 79人(73.8%) |
| サービス職業従事者 | 77人 (高専全体の1.4%) | 工学科 77人(1.4%) |

それぞれ上位3番目までを抜粋

4. 専門学校

目的：「職業若しくは實際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ること」を目的とする。

上記のような目的を持つ専門学校において、職業教育の位置づけ・在り方をどう考えるか。

(上記在り方に対し)現状・課題(及び改善方策)をどう考えるか。

【就職者の現状(資料8-3参照)】

| | | |
|--------------|--------------------------|---|
| 専門的・技術的職業従事者 | 114,520人 (専門全体の67.4%) | 医療分野 44,070人(96.3%) 工業分野 21,853人(75.2%) 教育社会分野 14,813人(89.3%) |
| サービス職業従事者 | 21,781人 (専門全体の12.8%) | 衛生分野 10,547人(38.6%) 文化教養分野 4,764人(19.1%) 商業実務分野 3,754人(18.5%) |
| 事務従事者 | 11,796人 (専門全体の6.9%) | 商業実務分野 7,920人(39%) 文化教養分野 2,222人(8.9%) 工業分野 996人(3.4%) |

それぞれ上位3番目までを抜粋

5. 資格取得のための教育と職業教育の関係について

大学教育、短大教育、専門学校教育における職業教育の特徴・差異をどう考えるか。

例えば看護師や介護福祉士など、学校種を越えて養成施設の指定がされ、養成が行われている場合、それぞれの学校種における教育や、養成される人材像の特徴・差異、在り方等をどう考えるか。

6. 高等教育機関における職業教育の充実について

社会人・職業人として自立するために必要となる、基礎的能力及び具体的知識・技能等の育成のため、高等教育機関が果たすべき役割とは何か。

- ・大学・短大の役割
- ・非大学系高等教育機関の役割

「各高等教育機関の教育・研究の質の向上に関する考え方」(平成17年1月中教審
「我が国の高等教育の将来像」(答申)より関連部分抜粋)

学士課程

《学士課程の多様性》

社会が複雑かつ急激な変化を遂げる中で、各大学には、幅広い視野から物事を捉え、高い倫理性に裏打ちされた的確な判断を下すことができる人材の育成が一層強く期待されている。各大学には、大学における「教養教育」や「専門教育」等の在り方を総合的に見直して再構築することにより、現状より更に充実した学士課程教育を展開することが強く求められる。

学士課程段階での教育には「教養教育」や「専門基礎教育」等の役割が期待される一方で、職業教育志向もかなり強い。したがって、今後の学士課程教育は、「21世紀型市民」の育成・充実を共通の目標として念頭に置きつつ、教育の具体的な方法論としては、様々な個性・特色を持つものに分化していくものと考えられる。例えば、学士課程段階では、教養教育と専門基礎教育を中心として主専攻・副専攻の組合せを基本としつつ、専門教育は修士・博士課程や専門職学位課程の段階で完成させるもの(言わば「総合的教養教育型」)や、学問分野の特性に応じて学士課程段階で専門教育を完成させるもの(言わば「専門教育完成型」)等、多様で質の高い教育を展開することが期待される。

《専門教育》

職業的素養に関わる専門教育については、専門職大学院制度の発足を契機として、学士課程段階を中心に完成させるものと修士課程・専門職学位課程段階を中心に完成させるものを、学問分野の特性や各種職業資格との関連に応じて具体的に仕分けして考えていく必要がある。

短期大学の課程

学位取得のための教育と技能・資格取得のための教育の性格の違いを内容面から特徴づけるのは教養教育であり、短期大学における教養教育は、4年制の学士課程における教養教育と同様に、自己の人間としての在り方・生き方に関わる教育であると考えられる。短期大学の課程の教育上の特色は、こうした「大学における教養教育」を幅広い学習需要に的確に対応したアクセスしやすい形で提供する点にあると考えられる。

また、短期大学を含めた大学における実務教育・職業教育は、教養教育の基礎の上に立ち、理論的背景を持った分析的・批判的見地からのものである点で、他の機関により提供される実務教育・職業教育とは異なる特徴があるものと考えられる。短期大学関係者は、4年制の学士課程に準ずる実質を備えた短期大学の課程の教育上のこうした特徴を一層明確化するよう、教育の充実に不断の努力を傾注する必要がある。

高等専門学校

高等専門学校は、5年一貫の実践的・創造的技術者等の養成という教育目的や、早期からの体験重視型の専門教育等の特色を、大学の学士課程教育や短期大学の課程の教育との対比で一層明確にしつつ、今後とも応用力に富んだ実践的・創造的技術者等を養成する教育機関として重要な役割を果たすことが期待される。

専門学校

職業教育をキーワードとした教育体系の中で、専門学校の中核的な役割や位置づけを明確にする必要がある。

知識・技術等の高度化や専門特化した技術者養成等のため、修業年限の長期化・多様化に伴い、専門学校の高等教育機関としての性格も短期から長期まで様々なものに拡大してきている。一方で、大学の学士課程教育や短期大学の課程の教育との対比で、社会的要請に応じて実際的な知識・技術等を習得した人間性豊かな人材を育成するため、実践的な職業教育・専門技術教育機関としての専門学校の性格を明確化し、その機能を充実することが期待される。